

## 編集後記

平成18年度の藍野学院紀要第20巻が完成しましたのでお届けいたします。

藍野学院紀要は昭和62年（1987年）に第1巻を上梓して以来、今年度で20巻を数えます。そこでこの区切りの年を記念し、本号を特別記念号とすることにいたしました。特別記念号の内容として、まず、小山理事長をはじめ藍野グループに関わりの深い方々に特別にお願いし、この20年間にまつわるお話を書いていただきました。様々な立場から書かれたこれらの文章を読んでいただくことで、藍野グループの20年間の発展の歴史を深く理解していただけるものと思います。同時に自分自身の20年間について振り返るよい機会としていただければ幸いです。

また藍野学院紀要第1巻から第20巻までの総目次および全執筆者索引を掲載いたしました。これらを眺めて感じることは、よく言われることですが継続は力なりということです。すなわち年々の積み重ねが、歴史を作り、藍野学院紀要の価値を押し上げているのです。

もちろん本号には通常の投稿論文も掲載しています。藍野学院紀要は英文雑誌であるAino Journalとともに、藍野グループの方々の業績発表の場のみならず、査読のシステムも持たれっきとした学術雑誌でもあります。この査読がなされるかどうかというのは大変重要なポイントです。最近では科学研究費などの申請に際して、業績の掲載誌に査読があるか無いか、を明確に記載しなければならないようになってきています。

古来20という数字は特別な意味をもっていました。そもそも両手両足の指の数の合計であり、マヤ文明では20進数が使われていたとのこと。つまり20で一桁上がる訳です。昔の英国の通貨で20シリングは1ポンドであったとか、scoreという単語は本来20個を意味する単位であったというのも一例です。我々もこれを機会に、一桁上がり、新たな気持ちで次なる20年に向けてスタートをきりたいと思います。

最後に本誌の完成が遅れましたことをお詫びいたしますとともに、論文・特別寄稿などの著者のみなさまをはじめ、査読を快くお引き受けいただいた先生方、そして膨大な事務処理を黙々とこなされた事務局の方々に深く御礼申し上げます。

（紀要編集実施委員長：田中俊典）

### 藍野学院紀要 第20巻

平成19年3月31日

編集兼発行者 学校法人 藍野学院  
〒567-0012  
大阪府茨木市東太田4-5-4  
電話 (072) 627-1711 (代)

印刷 明文舎印刷株式会社  
〒601-8316  
京都市南区吉祥院池ノ内町10  
電話 (075) 681-2741